

海外農林業情報 No.53

WTO ドーハ・ラウンドについて

今月 15 日から 18 日まで、ケニアのナイロビで開催された、WTO のナイロビ閣僚会議においては、現在継続中のドーハ開発アジェンダ交渉（いわゆるドーハ・ラウンド）を今後どのように展開するかが最大の焦点でした。

米国や EU 等先進国間からは、現在のドーハラウンドは終了させ、新しい貿易国際ルール策定の交渉に入るべきという主張がなされ、これに対し、中国やインド等からは、ドーハラウンドは開発途上国向けのラウンド、すなわち開発ラウンド交渉であり、更に交渉終結に向けて努力を続けるべきだとの主張で、大きく対立しました。そのため、結局両者の合意に至らず、両論併記の形をとった共同宣言が発せられることとなりました。

しかしながら、農業補助金については、これを廃止すべきであるという基本的な考えが開発途上国および先進国ともに一致しており、今回のナイロビ閣僚会合でその撤廃が決定されることとなりました。

輸出金融および保険を含む全ての輸出支援について、原則として、先進国は即時、開発途上国は 2018 年までに廃止するという方針です。しかし、先進国では例外品目を設けており、これらに対しては 2020 年までに撤廃ということになっており、また、開発途上国については 2023 年まで、さらに後進開発途上国（LDC）については 2030 年までに撤廃となっています。とくに、問題となっている綿花については、先進国では即時撤廃、開発途上国では 2017 年 1 月までに撤廃するという決定がなされています。

なお、農業に関するその他の合意として、食料安全保障のための公的在庫、開発途上国向けの特別セーフガードシステムが含まれています。

文責：西野 俊一郎

<参考リンク>

WTO members secure “historic” Nairobi Package for Africa and the world (WTO、英語)

https://www.wto.org/english/news_e/news15_e/mc10_19dec15_e.htm

第 10 回 WTO 閣僚会議（概要と評価）（外務省）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/st/page12_000004.html

本情報のメール配信をご希望の方は、姓名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空（から）メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：deskb@jaicaf.or.jp
 メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880（担当：西野・森）までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階